

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基 本 活 動	(3)子ども未来食堂	24		31	152	9	37						229	月に2回こども食堂を開催する。土曜日や長期休暇に昼食を提供。様々な献立で食事を楽しむ。	同じ献立をみんなで食べることにより、仲が深まることができた	
	(2)つくってみよう会	12	13	31	77	1	20					10	152	毎月1回の工作行事。季節感も考慮して内容を設定して実施。	土曜日開催だった為、参加人数に限りがあった。	
	(3)避難訓練	4			49	1	22				1		73	災害時に備えて避難訓練を実施。	様々な想定で訓練することができた。	
	(3)防犯訓練	2										16	16	山科署生活安全課からお越しいただき、職員向けの防犯訓練及び、さすまたの使い方や護身術など身の守り方を学ぶ。	専門的な視点で教えていただいた。月3回程度、朝礼時に護身術を職員間で行っている。	
	(3)フレンドリーダー	7		13	77	1	9						100	様々な種類の集団遊びを月1回実施。集団遊びを通し縦割り交流を深める。	様々なあそびを体験することができ、学年間で交流ができた。	
	(1)卓球デイ	7		5	7							1	13	卓球に親しめるよう、小中高生の活動。	土曜日開催の為、人数は少なかったが、初めて卓球をする子は親しむことができた。	
	(3)夏まつり	1	25	14	37	12	20					23	131	児童館内と地域文化センターで、さかな釣りやお面づくり、ボウリング、的当て、らくの助の登場などの遊びのコーナーを設定して実施。	どのコーナーも楽しんで参加する様子があった。4年生以上の高学年スタッフの企画・運営・手伝いの活躍の場となった。	
	(3)うちわづくり	1			23	2	3							28	暑い夏を涼めるうちわを手作りで作成。	オリジナルのうちわ作りを楽しむことができた。
	(3)ハロウィン週間〇×クイズ	1			19		2							21	ハロウィンの遊びや工作を5日連続実施。1日目は、ハロウィンに関する〇×クイズを実施。	今年度初めての取り組み方法で実施した。クイズを通してハロウィンについて学ぶきっかけとなった。
	(3)ハロウィン週間仮面作り	1		2	27		3							32	ハロウィンの遊びや工作を5日連続実施。2日目は、スパンコール等で装飾し、オリジナルの仮面を作成。	作ることも、作った仮面を身につけることも楽しむことができた。
	(3)ハロウィン週間マント作り	1		1	32		1							34	ハロウィンの遊びや工作を5日連続実施。3日目は、カラーポリ袋にペンで絵や文字を描きマントを作成。	日に日にハロウィンが盛り上がる様子があった。作ったマントを身につけ、なりきって楽しむことができた。
	(3)ハロウィン週間クイズラリー	1			29		10							39	ハロウィンの遊びや工作を5日連続実施。4日目は、児童館内でハロウィンのクイズラリーを実施。	友達と協力して、クイズをさがしたり解いたりする様子があった。
	(3)ハロウィン週間フェイスペイント	1		1	30		4							35	ハロウィンの遊びや工作を5日連続実施。最終日はフェイスペイントコーナーを展開し、職員がペイントを実施。	イベント期間中、楽しみにして児童館に来る様子があった。次年度は、高学年スタッフの意見を取り入れ活躍の場にしたい。
(3)やんちゃワールド2023	1		8	3	1								12	山科醍醐の児童館まつりに参加する。	普段とは違う雰囲気の中、遊びや工作を楽しんでいた。	
(3)クリスマス会	1	3	10	44	3	8					3	71	児童館内や地域文化センターで、遊びやクリスマス工作のコーナーを設置して実施。	どのコーナーも楽しんで参加している様子が見られた。高学年スタッフの企画・手伝いの活躍の場となった。		
	合 計	65	41	116	606	30	139	0	53	0	1	0	986			
推 進 活 動																
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	子ども育成機能 合 計	65	41	116	606	30	136	0	53	0	1	0	986			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (京都市音羽) 児 童 館

	活動名	実施回数	参加人数								内 容	成 果 と 課 題				
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人	
子 ど も	(1)①おとわの森クラブ	17	62									61			123	1歳から就学前を対象とした年間登録の乳幼児クラブ 手遊びや体操、季節の工作や遊びを展開 年間通じて活動することが出来た 0歳から1歳未満を対象とした年間登録の乳幼児クラブ 手遊びや体操、季節の工作や遊びを展開 年間通じて活動することが出来た 0歳から就学前を対象とした年間登録の乳幼児クラブ バランスストーンやボールプール等の遊具で運動遊びを展開 年間通じて活動することが出来た
	(1)①おとわの森クラブプチ	17	37									38			75	
	(1)①あそびのひろば	17	57									56			113	
	合 計	51	156									155			311	
家 庭 支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数		
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }				
		件数 計	0	-					-			-				
活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題						
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題								
		おたより配布	12	月1回、児童館だより(2部)を音羽学区の町内で回覧版で啓発活動。				地域住民の方々に広く啓発することができた。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域福祉	基本	活動名	実施回数	主 催	参加人数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	「地域実践活動」	31	京都府東総合支援学校 京都市音羽児童館						62	30	92	東総合支援学校	東総合支援学校高等部の学生さんたちが、実践的な活動をまなぶ場として貢献できた。	
	「児童館見学訪問」	1	京都府東総合支援学校 京都市音羽児童館						7	3	10			東総合支援学校中等部の学生さんたちが、実際の実践活動の場を見学し意欲に繋がる機会となった。
	「パパママ自転車勉強会」	1	京都市建設局 自転車政策推進室 京都市音羽児童館	3						7	7	京都市建設局 自転車政策推進室	子どもを乗せての自転車乗り方やルールなど、安全に使用する為の学びの場となった。	
	「消防フェスタ」	1	京都市音羽児童館	18	8	3	1	1	0	23	54	山科消防署 大塚消防出張所	避難訓練や初期消火訓練、防火着用体験や消防車見学など、地域住民に防災意識を持ってもらう機会として貢献できた。	
	「やましなお誕生おめでとう事業」	1	音羽学区民生委員協議会 京都市音羽児童館							1	1	音羽学区民生委員協議会	民生委員さんと一緒に赤ちゃん訪問を行い、児童館利用のきっかけづくりに貢献した。	
		合 計	35	—	21	8	3	1	1	69	64	167		
促進	活動	活動内容				活動人数				成果と課題				
		京都橘大学 キャリアゼミ ボランティア活動				中学生	大学生	大人	合 計	大学生を受入、児童館の実際を学ぶ場として、貢献できた。				
							10		10					
合 計					10		10							
機能	活動	連携団体等	連携内容				成果と課題							
		音羽学区自治連合会 音羽学区民生員協議会 音羽小学校 永興小金塚こども園 南殿幼稚園 東総合支援学校 元気スポット0-3 山科消防署 大塚消防出張所	団体長と意見交換、年間行事報告をおこなった。 毎月児童館だより配布。毎月会議で児童館や地域の情報交換を行った。 児童館行事のお手伝いに協力参加。 随時情報共有・学校行事の参観を行った。 連携・情報交換を行った。地域子育てステーション事業の連携として会議や研修、行事のお手伝い協力参加。 幼稚園の先生と協力して乳幼児の取組。連携・情報交換を行った。 「地域実践活動」の連携協力を行った。 児童館だよりの交換を行った。 防災の取組で協力連携。				児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 随時連携を図り、関係を深めることができた。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 情報交換や行事の参画、意見交換をして関係を深めることができた。地域子育て支援ステーション事業としての連携を図る。 乳幼児の取組で参画協力。実施回数は見直し、今後も継続。 今後も「地域実践活動」の活動の場として連携し、貢献していく。 意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図る。 今後も防災の取組で協力連携し、行事を進めていく。							

地 域 活 動	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			京都市音羽児童館運営協力会		音羽学区自治連合会 音羽学区社会福祉協議会 京都市立音羽小学校 京都市立音羽小学校PTA 音羽民生協議会 音羽消防分団長 音羽少年補導委員長 音羽防犯推進委員長 音羽交対協音羽支部長 音羽老人クラブ長 永興小金塚こども園		年4回	児童館事業取組内容報告 学童クラブ事業取組内容報告 年間行事計画 意見交換	各関係機関との関係性の継続を 図ることができた。 児童館の取組について理解を得 ることができた。 今後も、取組を通じて関係性を 深めていく。
福 祉 促 進 機 能	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先 (団体・機関等)		成果と課題
能		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	

(令和5) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市音羽) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	音羽児童館だより 乳幼児親子・地域の方 小中高生	月1回	音羽児童館利用者 音羽民生協議会 音羽学区住民	来館時配布 ホームページ掲載 館外掲示 町内回覧	児童館行事 乳幼児クラブ日程、取組内容	今年度からおたよりを二種類に分けて配布。 ニーズに合わせて、児童館の行事や取組内容を 広報することができた。
	乳幼児クラブ申込用紙	年間通じて	乳幼児親子 地域住民 音羽民生協議会	来館時配布 ホームページ掲載	乳幼児クラブ登録募集	ニーズに合わせて配布し、募集を募ることが できた。
	行事ポスター ・こども未来食堂 ・夏祭り ・ハロウィン週間 ・クリスマス会	開催月	乳幼児親子 児童 地域住民	館内ポスター掲示 館前ポスター掲示 Instagram	行事の参加案内	行事への参加者を募ることができた。